

海 陽 風

平成29年11月29日



「お手伝って必要？」



八戸地方の天気予報に、雪マークが表示されるようになってきました。本格的な冬の訪れも、もうすぐです。子どもたちの話題にも冬休みのことが上ようになってきました。

ところで、夏休み終了後に回収された通信票の家庭欄を見て感心したのですが、「料理や洗濯を進んで行った」などお手伝いに関する記述が結構ありました。江陽の子どもたちは、進んでお手伝いをする習慣があるのだと誇らしい気持ちになりました。

あくまでも私の経験ですが、自分の子どもにお手伝いを頼むと、時間がかかる、きれいにできない、後始末が大変、忘れるなど、たいへんという記憶があります。生活が便利になっているのにもかかわらず、小さい子どもにお手伝いをさせるとなると、いちいち対応

しなくてはならず、親にとっては面倒であり、あまり必要性は感じないのかもしれない。

では、お手伝いは実際必要ないのでしょうか。

左の表は、子どものころの体験は、その後の人生にどのような影響を与えるのかをまとめたものです。数字が大きくなるほど関係が強いことを表しています。「家事手伝い」のところを見ていくと、「家事手伝い」は子どもの「関心・意欲」（もっとやってみたい、学んでみたい）や「職業意識」（人のためになる仕事をしたい）、「文化的作法・教養」（丁寧な言葉を使う）などに、大きく関係していることがわかります。このことから、子どものお手伝いはいろいろ

「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」

独立行政法人 国立青少年教育振興機構（平成22年10月）

	自然体験	友達との遊び	地域活動	家事手伝い	家族行事
自尊感情	4	8	8	2	3
共生感	4	5	2	4	4
意欲・関心	1	6	6	9	3
規範意識	0	8	2	6	8
人間関係能力	1	7	9	6	2
職業意識	0	7	4	9	5
文化的作法・教養	2	3	6	8	4

な課題があるのでしょうか、子どもたちのよりよい成長のためにはとても大切な活動と言えるようです。

もうすぐ子どもたちは冬休みに入ります。学校では、家庭の一員としてお手伝いをするよう奨励しています。どうか、お子さんが家庭での役割をきちんと果たす事ができるよう、褒め、励まし、充実した休みが過ごせるようお願いいたします。

招待給食をしました

11月21日（火）に招待給食を行いました。本校では地域密着型教育を推進しており、地域の方々からたくさんの方を教えていただいたり、環境整備をしていただいたりしております。そこで、お世話になった方々を本校に招待して、給食を食べながら感謝の気持ちを伝えるために、この招待給食を行っています。今年は各団体から22名をご招待しました。本当はお世話になった方全員をご招待したかったのですが、学級数の関係でそれはできませんでした。大変申し訳ありませんでした。現在、来年度の招待給食のあり方や招待のしかた等について、検討しているところです。



これからも、本校の子どもたちはいろいろな場面でお世話になると思います。どうか、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくをお願いいたします。

地域学校連携協議会開催

11月28日（火）、江陽中学校で地域学校連携協議会を行いました。これは、地域密着型教育を通じて、①子どもたちによりよい教育環境を提供する②ふるさとに誇りと愛着を持つ子供を育てる③地域ぐるみの教育活動を展開し、明るく活力のあるまちづくりに貢献するということを目指して行っているものです。今回の地域学校連携協議会では、江陽小・中学校の学校経営・運営の様子や学校評価結果についての報告を行いました。また、委員の皆さんからは、学校の教育活動等についての質問等がありました。このあと、学校評価結果についてのご意見をいただき、来年度の教育課程に反映させていきたいと考えております。